

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE新築（簡易版）2010年版 使用評価ソフト：CASBEE-Ncb\_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グリーンパーク愛宕	階数	地上3F
建設地	京都府舞鶴市	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、法22条地域	平均居住人員	80人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年7月 予定	評価の実施日	2011年2月4日
敷地面積	1,879㎡	作成者	堀川文恵
建築面積	1,031㎡	確認日	2011年2月5日
延床面積	2,997㎡	確認者	中武英文



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 77%  
③上記+②以外のオンサイト手法 77%  
④上記+オフサイト手法 77%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>構造は鉄骨のラーメン構造。間仕切り対応が容易となるよう計画した。</p>	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください</p>	
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>2階、3階の個室は個別空調を採用した。外調機を導入し適切な温湿度環境形成につとめる。十分な換気ができる開口部を設けた。室内は全面禁煙としている。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>メンテナンスの容易な仕上げ材料を採用した。廃棄物庫の設置や清掃用具等を各階に確保できるスペースを確保した。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>駐車場の必要台数を確保しながらも可能な限り敷地周囲に緑化をおこなった。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>夜間電力を利用したオール電化の採用した。空調設備、照明設備の運転制御の細分化をし省エネルギーを図った。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>節水型衛生器具の採用。仕上げ材にリサイクル材使用製品を採用した。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>燃焼器具の不採用により大気汚染物質の発生させない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと